



2月に入って一気に冬らしくなりました。雪が降る日も増え、「積もれ！」と喜ぶ子ども達の声もよく聞かれます。子ども達にとってはうれしい雪も、大人にとっては悩ましくもあります。移動の際等は十分お気を付けてください。

秋の終わりもはっきりしないまま迎えた冬は、例年に比べて暖かい冬となりました。困ったことにインフルエンザの流行は大きく、小さく波打つように続いています。

それでも子どもたちの、それぞれの学年をしめくくるさまざまな行事に向けた準備も含めて、懸命に毎日の学習や生活に取り組んでいる姿に頼もしささえ感じています。

児童発達支援

お正月明け。お始まりでは、お正月の思い出を一人ずつ発表しました。「お正月って何？」とお正月の概念がないお子さんも多く、スタッフがジェスチャーを交えて伝えると、少しずつ思い出して発表していました。行事は年に一度しかなく、子ども達にとっては新鮮な経験で、その一つ一つに意味があることを伝える大切さを改めて感じました。

日常生活も同じで、朝ご飯を食べる、服を着替える、ボタンを止める、ファスナーを上げる、服をたたむ等、何気ない一コマもまだ概念すらない子どもたちにとっては？？で、面倒なことばかりだと思います。概念ができ、理解し、自分で行えるようになるまで、大人もとても根気が必要で、時間がかかりますが、日々の積み重ねでできるようになったことはとても尊いと、子ども達と関わりながらいつも感じます。今年もその小さな一歩を保護者様と共有し、支援させていただきたいと思います。

一月からは今年度の集大成として「ルールを守る」「話を見て聞く」「椅子に座って待つ」ことをより意識し、基礎集団での行動につながるよう社会性を育てていきます。子ども達の頑張りを記録や掲示板で見えていただき、成長を共有していただければ幸いです。

放課後等デイサービス

何かに取り組んでいる時に、スタッフがお友達の誰かに話しかけたり、お友達がしている何かに気づくと、していることを途中で止めて、向きを変えて聞き入ってしまいます。これは、ひなたぼっこの子ども達の多くに共通することで、支援項目のひとつです。

はっと自分で気づくこともあります。していたことを忘れてしまうこともあるようです。自分がしていることに集中すること、注意が逸れても自分でそれに気づくこと。ひなたぼっこではそのような場面で、自分がしなければならないことを、しっかりとやり切る練習をしています。

★3月17日（月）は開所致します。ご利用希望の方はご連絡ください。尚、木曜日ご利用の子どもさんを優先させていただきます。

★子どもさんのご利用時の状況についてお話をさせていただきたいと思います。来所可能な日をLINEやお電話、連絡帳にてご連絡ください。

★堀川心理士が「ぱぷくどん」というお便りを発行されています。メールやLINEでお届けしますので、ご興味のある方はお声かけください。

